



今村 定一

湯沢学園建設のGOサインの時期について

質問

中学と小学校を統合した、小中一貫教育学校(仮称湯沢学園)の開校について、専門学者を交えた検討委員会を設置した中で十分検討を進めて行く、としています。しかし教育長は町長の建設決断無くして検討委員会は立ち上げないとしていることに、まず建設ありきでなく検討を優先すべきと考えるが町長の姿勢は。

町長答弁

町民の多くの皆様には、統合について理解いただいていると思っています。建設も含め、文教施設整備構想の具体的実現に向けて取り組む決断をしました。新

年度から専門家を交えた文教施設整備運営委員会でも具体的なことについて、検討・計画・実行をしていく考えであります。当然、委員会での検討内容は明らかにし、広報・ホームページ等で知らせ、町民からの色々な意見には耳を傾けて行くつもりであります。

統合に向けて児童への高揚の手法は

質問

統合に向けての今後三年間の教育行政は教育長にとって大変な責務と思えます。生徒・児童・教職員・保護者等への統合意識の高揚は、検討委員会と並行して進めなければならぬと考えられる

①学校間の格差解消と平準

化

②学校間の交流の拡大と中学校との交流

③児童生徒の統合への意識の高揚

④小中一貫教育システムの周知、これらをどのような方策を持って進めて行くのか

教育長答弁

統合に向けて4月以降文教施設整備検討委員会を開催、特に教育カリキュラムは検討内容を見ながら、児童生徒はもとより保護者等への情報提供や意識の高揚は継続しながら統合時のソフトランディングを目指していくことになる。

①については、現況での改善は難しいが統合によって教育環境を同じくすることで格差解消を図れる

と考えています。

②については、スムーズな統合に向けて重要な要素となる。統合後も異学年交流は継続して行くことになるので学校現場の状況を見ながら校長会で相談しながら交流会を増やして行きたいと考えています。

③については、当然子ども達に対して統合について話しや情報は流していく。その過程で大勢の児童生徒と一緒に勉強していく心構えや意識の高揚を図っていく。また委員会には各校長も委員でありますので、協議の内容は校長を通じて、児童生徒・教職員・保護者には丁寧に説明して行きます。

④については、3名の大学の先生より専門の見知か

ら一貫教育について、町民・保護者等向けに講演も考えております。委員会の検討過程において、具体的な教育カリキュラム内容等も十分周知して、一貫教育がもたらすメリット・デメリットがどういうものなのか承知しながら一つ一つ克服し、理解を深めながら進めて行きたいと考えております。

湯沢学園建設の時期と統合に向けて児童への高揚の手法について

一般

質問

質問